



奈良・人と自然の会

〈わたしたちは大和の自然を愛します〉

南アルプス縦走

豊島 すみ子

今年の夏も異常気象が広がっていることを実感させられる夏でした。やっと梅雨が明けたかなと思われるお盆に荒川三山から聖岳まで南アルプスを縦走してきました。少し前に発生した東海地方を襲った地震の影響で高速道路は通行止め。一般道を迂回することになり、ひどい渋滞に巻き込まれながら大井川鉄道沿いを畑薙第 1 ダムへと向かいました。大井川鉄道は S L が走っているのので有名な路線です。途中立ち寄った川根温泉では鉄橋の上を通過する S L に偶然出会え、渋滞の疲れも吹っ飛び大興奮でした。その後は順調に遅れを取り戻し、畑薙第 1 ダムから予定していた送迎バスで、榎島ロッジに到着しました。東海フォレストが経営しているロッジは設備も整い、快適でお風呂にも入れます。

縦走 1 日目は、朝 6 時に出発、滝見橋から小石下、清水平、蕨段、駒鳥池と高度を上げて行きます。千枚小屋は夏山のシーズンに入る直前に不審火により小屋が焼けてしまい、仮小屋で、食事也非常食程度が提供されるということでした。小屋周辺ではトリカブトやマルバダケブキ、マツムシソウ、チングルマなどの高山植物が咲き乱れ、疲れた体を癒してくれます。



第 2 日目の朝早く、眠い目をこすりながら外に出ると目の前に大きく富士山がそびえています。中腹の明かりも見えるくらいの近さで、周辺は辺り一面赤く染まり、刻一刻と色を変えていきます。そして一段と輝いたかと思うとあたりはさっと明るくなり、暖かくなりました。富士山に見守られながら今回の山行きのハイライト千枚岳 (2,879m)、悪沢岳 (3,140m) に向かって出発です。ガレ場やザレ場、岩場に足を取られそうになりながら慎重に登っていきます。標高が南アルプスで第 3 位の悪沢岳山頂からの 360 度見渡せる大展望は最高です。続く荒川岳前岳の山頂では足元から大崩壊が広がっています。じっと眺めていると今にも瓦礫の中に飲み込まれそうな気がしてきます。ガレの続く斜面を慎重に下り、一面に咲くお花畑にほっとしながら荒川小屋に到着。名物のカレーライスがおいしくてお変わりまでしてしまいました。

第 3 日は赤石岳 (3,120m) から百間洞山の家を目指します。相変わらずのガレ場もありましたが気持ちの良い空中散歩を楽しむことができました。ウサギ菊、クロユリ、タカネピランジ、ハクサンフウロなどの高山植物やハイ松の間にライチョウの親子の姿も見られました。赤石岳の名前の由来にもなった赤い石はラジオリリア (放散虫) の遺体などが堆積してできたチャートと考えられているそうです。百間洞山の家では名物の大きなトンカツの揚げたてをいただきました。

第 4 日目は、いくつものピークを越えながら聖岳 (3,013m) から聖平小屋へ今回の山行きでは最長約 10 時間の行程です。ミヤマウスユキソウ、ミヤマキキョウ、ヨツバシオガマなど可憐に咲く高山植物に励まされながら一步一步足を前へ進めます。

5 泊 6 日と久しぶりの縦走でしたがお天気に恵まれ、たくさんの花に出会い、大パノラマを満喫した最高の山行きができました。あと何回山へ行けるのでしょうか・・・？

9月例会

赤埴の巨木と仏隆寺

吉村 さつき

天気は快晴、バスで赤埴口に行きお手製のとてもよく分かる地図と資料をいただき伊勢本街道に入りました。まず驚いたのは、弘法大師が室生山に行くときお弁当を食べたお箸を地にさしたところ生育したという逸話がある16本の支幹に分かれた千年杉です。思わず手を合わせたくなるような神々しさを感じました。

かやぶきの大和屋根の津越家、伊勢参宮が盛んであった頃、殿様クラスの男の旅人が立ち寄ったとの事。主屋の後方には明治・大正・昭和夫々の時代に築造された別邸もあり、その時々に住みよいように工夫されているなど感心しました。お玄関で奥様の説明を受けましたが、きちんと整ったお家は住人のお人柄を想像できました。堂々とした建物に感嘆の声が出ました。

なだらかな佛隆寺への道筋にはヤマジノホトトギス・ツルリンドウ・キンミズヒキ・コムラサキ・ミズタマソウ・アオツツラフジ等沢山のかわいい花や実を見る事ができました。赤と白のゲンノショウコも花を咲かせていました。別名ミコシグサ（種子を飛散させた後で果柄を立てた様が神輿の様に見える事から）。神輿を見ることも出来ました。名前の由来が納得できました。お寺の近くでは赤や白の彼岸花が満開でよくお越しくございましたと迎えてくれているようでした。

巨木を眺めているととても気持ちが落ち着き素敵なお観察会でした。有難うございました。

*拾ったカヤの実を帰宅後直ぐにフライパンで炒ってみました。銀杏のように皮に割れ目が入りなんだか良い感じ。残念な事に渋皮が上手く取れず苦味が少し残りました。

でも美味しかったよ・・・

*9月26日(土)参加者：八木、豊島、吉村、野田、古川(祐)、橋本、小嶺、寺田孝、木村裕、小森、岸谷(和)、川井、竹本、勝田均、勝田緑岩田



『生駒路の自然と文化を訪ねる』

報告者 川井 秀夫



【参加者】阿部・古川・勝田・勝田（緑）・板橋・寺田（孝）・西谷・守口・小森・
木村（裕）・林・平塚・八尋・岸谷・岸谷（和）・城戸・弓場（京）・
弓場・川井・ 19名

10月10日。台風一過。蒼穹の空を仰ぎ、日本最古の生駒ケーブル下に集う。
今日のテーマは『生駒山を知ろう』。日頃、何げなく見る生駒山だが、古代から綿々と続くヒストリー、役の行者の駆けた修験の山であり、大陸からはシャーマニズム（超自然主義・占星術）の朝鮮寺が数多く存在する。

ケーブル霞ヶ丘駅下車。行者の駆けたであろう鬱蒼たる尾根道を歩く。生駒山は独立峰に見えるが、全長35キロ、八つの嶺が続く連峰であり、生駒連山である。南から高尾・信貴・高安、北へ飯盛・妙見・神南備・男山の諸山が連なる。

俯瞰すると竜が横たわる様に、歩いた道筋も「竜の道」の言われている。竜神信仰の名残りであり、修験道の山岳信仰に因る所でしょうか。

ここで一句：天高し生駒は仏と神のみち

展望台で昼食。更に、役の小角の鬼退治の伝説で名のある慈光寺を経て暗峠へ、くらがり、の謂れは諸説あり、歴史のロマンを追いながら真説を聴いて頂いた。

下山コースに入り、西畑町の棚田風景を望見する。当会のメンバーが最初に取り付いた社会活動の原点であり、稲刈りの跡の刈田、柿の撓わな風情、そばの花、コスモスが揺れて里山の深みゆく秋の風景を堪能する。

路傍の地藏仏が目につく。昔、奈良から伊勢へ「おかげ参り」が盛んとなり、奈良街道の行き倒れの人達への墓標であろうか。

石仏寺を経て、竹林寺へ。「行基」の終の棲処「生馬仙房」跡に建立されたと聞く。行基さんについて暫しレクチャー。大仏造立に一身を捧げ、落慶法要を見ず82才で寂靜されるのだが、生涯の功績には公共事業（橋・池・堀・救済施設・寺院等）の建設に超人的な足跡を残されている。奈良びと達の誇りであり、ボランティアの元祖として、敬愛の念を心に刻む。

最終点の往馬大社へ急ぐ。翌日の火祭り本番の前夜祭とあって、子供神輿、縁日の店屋が軒を並べ、火の神へのお祭りムードが我々を迎えてくれる。

天然記念物の極相林の社叢を観察し、境内にて祭り太鼓を聞きながら散会となる。

植物観察の方には特別資料として、生駒山の植生、地質分布、竹・笹の分類と見方。ドングリのイラスト解説等、オリジナル資料を提供し、喜ばれたと思います。

最後にアシスタント役に徹していただいた弓場 厚次氏に拍手を送ります。

2009年「環境フェア」報告

小嶺 敏勝

「みんなでとめよう温暖化」をテーマに、9月22日シルバークのまっただ中、なら100年会館で好天のもと開催された。当会も例年通り出展しました。

本年は平城遷都1300年に合わせてJR奈良駅前で規模を拡大し47団体・企業が出展しました。事前にマスコミにも可成り周知した為もあり、大変な人出でした。

今回は10名の多くのスタッフで対応しました。会報での呼びかけで多くの申し出をいただきましたが、ブースの狭さ等の事情から、お断りせざるえなかった事をお詫び致します。当会のエネルギーが益々強くなるのを実感します。今後ご協力よろしく願います。我々はタケ切り体験、タケ細工、箆笛等で参加しましたが、朝10時より

4時過ぎ迄常に子供達が押し寄せ、特に高さ2.5mの竹製トライアングル(パネル吊り下げ用)は好評でTV撮影のターゲットにもなっていました。子供達の笑顔を励みに安川さん、樋口さんを始め全員フル稼働でした。お疲れさまでした。

参加スタッフ 樋口、安川、弓場、勝田均
勝田緑、大石、林、森、池田、小嶺



<癒しの散歩道>

中秋のいでたち

谷川 萬太郎

眼も覚めやらぬ秋雨のいぶかしげな朝明けに 山裾に昨夜の名残のとぼり寂しく光っては消え

昇る朝日に早く今日のご挨拶をと待ち焦がれる やがて覗く木漏れ日が臉の奥にやさしく照らす

限りない時節をめぐり訪れる今年の秋は 密やかに綴られた引き出しの中のラブレターのよう

赤とんぼがダンスを踊りゆれる稲穂の中を 豊かなときめきを運ぶ夢列車が道の駅へと走り抜け

そよぐ秋風に乗って遥か遠い山里を見れば 黄金色のじゅうたんの笑顔に小さな瞳を潤ませて

名も無い鳥達が肌を寄せ合いながら山に帰る頃は 夕映えの陽ざし浴びたスキの後ろ姿が滲む

「奈良・人と自然の会」が行う2回目の校庭自然観察会が、10月5日（月）、奈良市立佐保川小学校5年生97名を対象に行われました。1回目の佐保台小学校の観察会は、「教育ゆめプラン」に基づく課外授業でしたが、今回は授業の一環として実施されました。

「奈良・人と自然の会」としては、校庭観察会の活動は始まったばかりで、経験者も少ない中でこれだけの人数、しかも対象が高学年であることを考えると、この取り組みはかなり冒険でもあり、勇気のいることであつたと思います。

前回の佐保台小学校の観察会の時から、責任者として、私たちをリードして下さった倉田さんのご配慮で、シニア自然大学のインプリ科のメンバーの協力を得て共催の形で進められました。経験豊かな、いわばインプリのプロである方々が加わってくださることで計画は順調に進められていきました。初心者の私には、打ち合わせ中も。メンバーの方のお話の端々に、参考になることがたくさんあり、安心して参加できる状況にさせていただけたと思います。特に工作の準備は大変なものでただただ感謝し、感心させられました。

当日は雨も上がりまずまずのお天気、元気な子ども達と校庭で会いよいよ開始です。開始前の下見と準備のとき、インプリ科のメンバーの方が、「私は、校庭の木の中で一番大きくて立派な木はどれかな、探してみよう。あれか。じゃー行ってみよう。と始めるよ。始めに面白そうだなと思うような語りかけをするのです。最初が肝心だからね。」と、おっしゃられたことが頭に浮かび、私はどの言葉で始めようかと必死で考えていました。といつても急に思いつくはずは無くすっかり慌ててしまいました。結局、「この木の名前を知っていますか。」と、平凡な切り口で始めることになってしまいましたが、子ども達の反応を見ながら、話していくと楽しくなり、気がつくと次のグループが来て待っていました。しっかりまとめることなく次のポイントに移ることになり、時間の配分の難しさを感じました。ヤマモモの葉で笛を作り鳴らす体験を最後に、6ポイントの観察が終わりました。草笛をすぐに鳴らすことが出来る子もいれば、最後まで鳴らすことが出来ない子もいます。気持ちを沈ませる子を見るのはつらく、教え方もまた難しいことでした。

教室に帰り、「クスノキの小鳥くん」を作る工作です。細かいパーツまで周到に準備されていたので比較的スムーズに楽しく作製していたと思います。

校庭に集まった子どもたちの様子を見て、話を聞いてくれるか不安がありましたが、思った以上にしっかり聞いてくれたと思います。子ども達が少しでも植物の生き様に興味を持ち、これからの学習や生活を豊かにしてくれる一助になることを願って学校を後にしました。良い経験をさせていただきました。ありがとうございました。

[参加スタッフ]

(シニア自然大学インタープリテーション科) 石橋、小林、中谷、小柳、高井、田伏
(当 会) 阿部、古川、樋口、倉田、小田、寺田、林、池田、高松、原田、藤田、木村、
岩田 平岡 以上20名



ならやまプロジェクト・レポート 21年10月

(古川 祐司 記)

9月27日(日) 晴 菜の花プロジェクト 種まき 参加者 17名 (内奈良コープ9人)

・菜の花プロジェクト畑はb地区の田圃跡の約7アールです。菜種は連作障害があり、毎年植える場所を変える必要があります。全員で、畝に残る笹の根を取り除き、次いで一定間隔ごとに4-5粒をまきつけます。なかなか根気のいる作業でしたが、皆さんおしゃべりを楽しみながら取り組んでいました。笹藪の整備に着手してから3年、放棄田に菜の花が咲きそろそろ来春で、b地区の景観整備は一段落です。

*今日の活動は、奈良TV、毎日新聞、読売新聞からの取材があり、TV放映、新聞報道がされました。

9月30日(水) 雨 湿地植物の移植 2名

・ビオトープ計画の一環として、かねてから湿地の植生調査を実施していたメンバーが、工事に先立って、消滅が心配される植生を疎開することになりました。生憎の雨中でしたが、女性2人(守口、西谷さん)はドロコンコになりながら移植を完遂。その熱意には感服しました。ほんとうにご苦労様でした。

10月2日(金) らやまプロジェクト世話人会議 阿部会長、世話人ほか 計10名

・21年下期(10月~22年3月まで)のグループごとの計画を検討しました。

里山 Gr: 下期は本格的な活動期となり作業量が増加するので、別途、自由活動日を検討する。

「里山でのルールとマナー」を決めたので、周知を図る

農園 Gr: 10月以降の栽培計画と、作業計画の提案

「お楽しみ」栽培品目を広げて新規の参加者を増やす。「アグリデー」を検討する。

環境景観 Gr: 梅林の植付け 植え床作りを10月に完成、11月に苗木を植付ける。

正月用葉ボタンの栽培 約60株を予定。

教育企画 Gr: 10月以降のイベントの実施計画、パソコン講習Ⅱ、県立大学ボランティア受入れ
マスコミへのPR活動

ビオトープ・ワーキングT: 湿地のビオトープの考え方と環境整備(塩本さん中間報告)

10月12日(月) 野鳥観察の日 参加者7名

・10月から新しい観察ルートにより調査。

今日 は上空にサシバとツミの飛行が見られました。

10月13日(火) 自由活動日 参加者18名

・里山 Gr、農園 Gr は超繁忙な時期です。今日は、臨時の活動日として希望者を募りましたところ

18名の参加がありました。台風18号で観察路に倒れた危険竹木の処理、梅林の植え床の造成、公開イベントの準備など、フル活動の一日となりました。今後も、必要に応じて、定例日以外にもグループごとに自主活動日を設ける予定です。



(ならやまのフジバカマに止まるアサギマダラ)

終了 午後3時

10月15日(木) 稲刈り 参加者24名 (内 佐保台小5年 11名が実習参加)

・ならやまの稲は台風の被害もほとんどなく上々の出来。佐保台小学校の児童たちは鈴木さんの手ほどきを受けた後、自分が植えた株を緊張した手つきで刈り取りました。稲は束にしてハサ掛けして作業は終了。この後、乾燥・脱穀と続き、児童たちは昔ながらの手作業による稲の収穫を体験します。

ならやま里山林自然観察レポート

ならやま里山林花だより

守口 京子

10月13日(火) カキ、アケビ、クリの実が熟し実りの秋です。

花壇・畑…ミズヒキ、フジバカマ、コムラサキ、シロシキブ、シュウメイギク、ノコンギク、ハナナス、ヒメツルソバ、ホトトギス、ハヤトウリ、ハナジンジャー、シヤクチリンソバ

野山…ベニバナボロギク、ヒメジソ、キツネノマゴ、イノコヅチ、アメリカセンダングサ、コセンダングサ、ボントクタデ、コウヤボウキ、イヌホオズキ、セイタカアワダチソウ
木や草の実…コナラ、クヌギ、カマツカ、コバノガマズミ、ソヨゴ、ヒサカキ、リョウブ
ヒヨドリジョウゴ

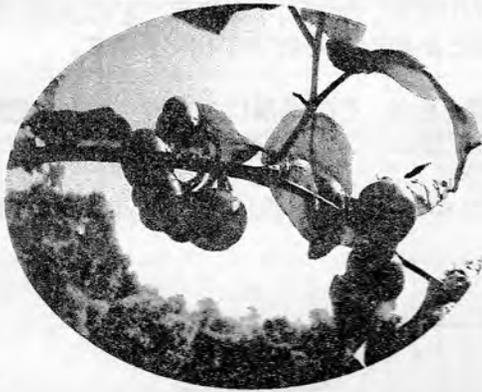
畑で鈴木さんが「イダコの赤ちゃん」と言ったので「ほんと!」と笑ってしまいました。わずか2cm足らずのハヤトウリの雌花です。小さいながらも花の下はウリの形です。ならやまに来て今まで知らなかった野菜をいろいろ覚え、また食べさせてもらっています。



野菜畑で

鈴木 末一

ならやまの「ハヤトウリ」にようやくのこと花が一輪咲いてくれました。先日、宇陀市の道の駅に訪ねてのためかた。今年は、したので、ていたのとができ形は「イイ花で、雄花機会があればごらんください。



で、ハヤトウリについて売店の方みしましたところ、今年は天候不順開花が遅れているとのことでした。玉葱の苗作りにチャレンジしま連日、朝の水やりに行つて観察しますが、今日、やっと確認できました。7~8mm程度の大きさで、「ダコ」そっくりでした。これが雌はまだかくにんできていません。

ならやまの10月の鳥

小田 久美子

調査は1年を終え、7人で新しいコースを回りました。柿レストランではメジロやヒヨドリたちが集い、竹藪ではモズが色んな鳥の真似をしていました。ツバメもまだいました。ヒヨドリの渡りの群れや、鳥観台ではツミがサシバを追いかけるシーンが見られました。

ならやまの案山子君





ならやま野鳥調査1期目を終えて

日本野鳥の会奈良支部 支部長 川瀬 浩

昨年夏、奈良・人と自然の会の会員で日本野鳥の会奈良支部幹事でもある、小田久美子さんの仲介で、会長の阿部さんから、ならやま里山林の野鳥調査を依頼され、たまたま橿原市の香具山調査も終えたばかりで、時間もあらかつ比較するのも楽しいのでは、と引き受けさせていただきました。

2年間の調査と言うことで、9月に1年目を終え、さらにあと1年間続くのですが、1年目の区切りというので、どういう調査を行っているのか、とか1年目の調査を終えての感想とかを述べさせていただこうと思います。

・調査コースの設定

10月からの正式調査の前に、9月に弓場さんや菊川さんと調査候補コースをいっしょに歩き、図-1にあるように、1期コースを設定し、1年間調査しました。

ただ、1年間調査した結果、コースが森林に偏っている傾向があって、どうしても単調になりがちです。今年の10月からの2期コースは、もう少し多様性があるといい、ということで菊川さんの案内で図にある点線のコースを新たに設定し、今年10月から調査を始めます。

・調査方法

①定線調査 調査コース0.9km(本来は1kmの予定でしたが、地形上変則な設定になりました)を約1時間かけて歩き、片側25m両側で50mの幅内に出現する野鳥の種類と数量を記録します。

0.9km×50mですから、調査面積は4.5haとなります。つまり、1ha換算でどのような鳥がどれ位生息するかを算出することで、他の調査場所との比較とかが出来る数字が出てきます。

②定点調査 調査地内の任意の場所に定点を設け、その場所に30分とどまって観察し、出現する種類と数量を記録します。これは、定線調査では把握しにくい種類を、より多く観察するために行います。より遠くで囀る種類や上空を飛翔する種類を観察することが可能です。

今回は、出発点に最初の定点、鳥観の丘に中間の定点を設け、それぞれ30分、計1時間に観察できた種類と数量を記録しています。

・調査結果

【観察種類数】1期では33種類を観察できました。これが多いか少ないかと申しますと、たとえば香具山調査では全体では67種類ですが、森林コースに限れば34種類ですので比較してもほぼ同じです。この調査コースは、9割方森林内ですので、妥当な数字なのかもしれません。ただ、春日奥山の53種類に比較しますと、同じ森林でも見劣りはします。

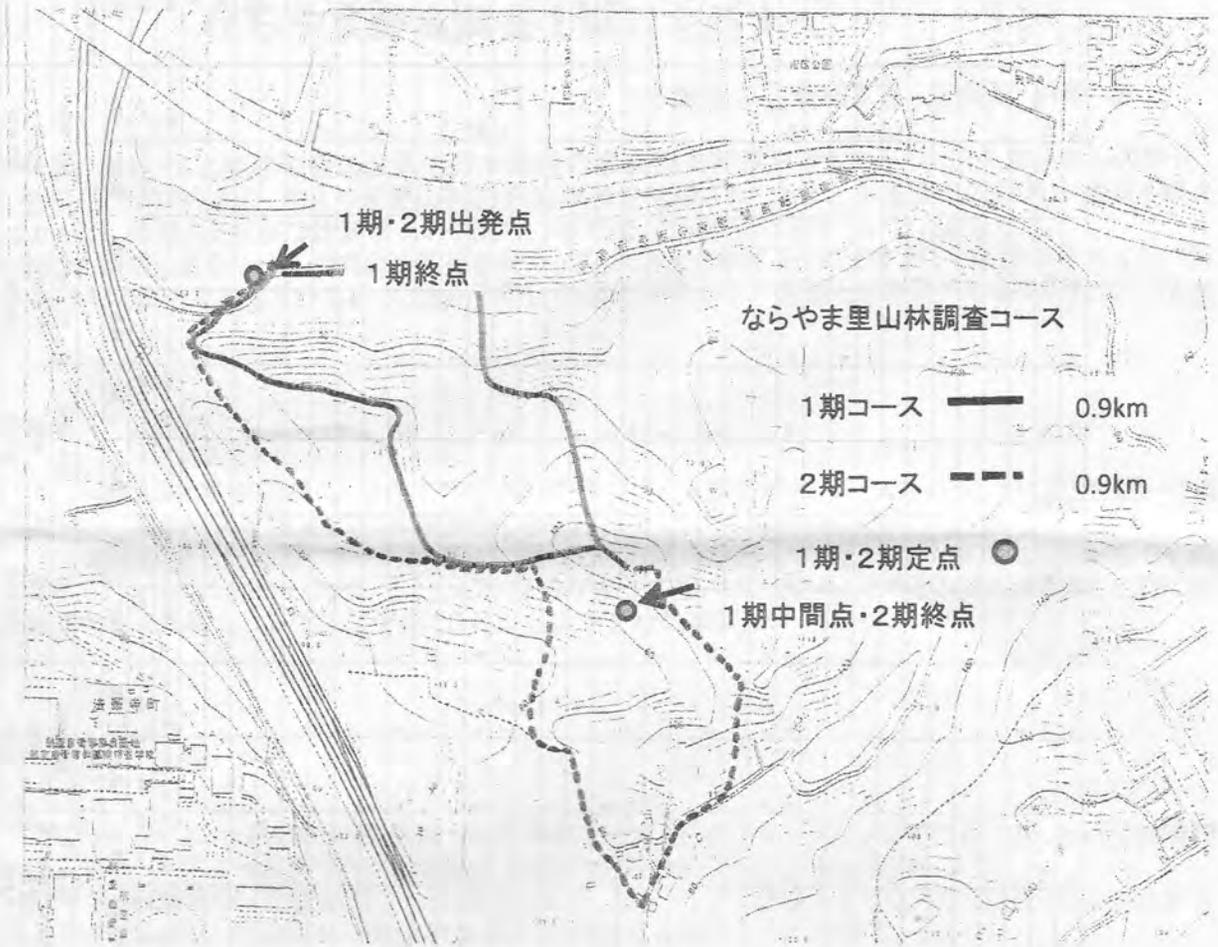
【観察密度】それでは、種類とは別に個体数が多いか少ないか、との問題ですが、これが先にのべたhaあたり換算の数字です。今回は、紙面の都合上のべる余裕がありませんので、2期目の調査を終えた段階で改めて記述したいと思います。

【全体的な感想】今回の調査コースが、国道24号線という大幹線に接していて、排気ガス等の環境面では、野鳥にとって不利な環境であることは間違いありません。また、奈良盆地を囲む周りの自然環境から、少しばかり離れているので、その点でも春日奥山のような野鳥の観察も無理のようです。しかし、キビタキが繁殖期に囀っていたように、またメジロのすばらしい囀りがきかれたように、落葉広葉樹林として、長年放置されてきたために、そこそこの高木が育ち、ますます大きくなることを考えると、野鳥にとって、すみやすい環境になって、繁殖する野鳥がふえる期待ができる場所ともいえます。

ならやま里山林調査結果(1期)

調査区 区分	調査区名	10月13日		11月10日		12月8日		1月12日		2月9日		3月9日		4月13日		5月11日		6月8日		7月13日		8月10日		9月14日		年 間 合 計	占 有 率	
		調査区 名			調査区 名																							
冬鳥	ダイサギ																									3	0.42%	
留鳥	コジュケイ																										3	0.42%
留鳥	キジ																										1	0.14%
留鳥	ヒクイナ																										1	0.14%
留鳥	キジバト																										1	0.14%
留鳥	ホトトギス																										1	0.14%
留鳥	アカゲラ																										2	0.28%
留鳥	コゲラ																										2	0.28%
留鳥	ツバメ																										2	0.28%
留鳥	セグロセキレイ																										2	0.28%
留鳥	ヒヨドリ	33	7	13	7	11	9	12	6	4	1	1	1	10	3	6	10	4	7	4	5	7	3	8	171	23.68%		
留鳥	モズ	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10	1.39%		
冬鳥	ルリビタキ																										4	0.55%
冬鳥	ジョウビタキ																										4	0.55%
冬鳥	トラツグミ																										3	0.42%
冬鳥	シロハラ																										5	0.69%
冬鳥	ソノハラ																										12	1.66%
冬鳥	ツグミ																										42	5.82%
留鳥	ウグイス																										4	0.55%
留鳥	キビタキ																										53	7.34%
留鳥	五ナガ																										10	1.39%
留鳥	ヤマガラ																										20	2.77%
留鳥	シジュウカラ																										151	20.91%
留鳥	メジロ	18	12	7	7	4	4	10	7	5	6	4	5	4	7	2	5	5	1	2	15	2	4	9	4	0.28%		
留鳥	ホオジロ																										2	0.28%
冬鳥	アオジ																										5	0.69%
冬鳥	アトリ																										2	0.28%
留鳥	カワラビロ	2	1	3	3	4	4																				34	4.71%
留鳥	イカル																										2	0.28%
留鳥	スズメ																										43	5.96%
留鳥	ムナドリ																										14	1.94%
留鳥	ハシホソガラス	2																									12	1.66%
留鳥	ハシトガラス	2																									5	0.69%
合計		57	25	35	22	50	33	31	23	23	42	15	12	27	28	45	22	52	24	37	30	10	12	49	18	722	100.00%	
種類数		6	7	10	9	11	11	6	9	11	8	8	8	10	10	12	10	12	11	10	8	3	5	10	6	33種		

<図-1> ならやま里山林野鳥調査コース図



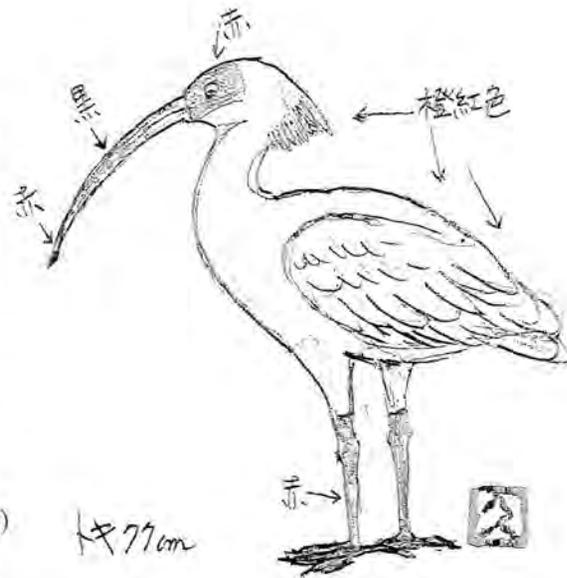
ある日の

鳥調査

うーん
あの鳴き声は
何かな？



飛翔時に風切羽の裏や尾などが鶉色(トキ色・淡紅色)になります。全体は白くシラサギに似ているようですが、コウノトリ目の中でトキ・コウノトリ・サギ、それぞれの科に分かれています。日本で最後の二羽が佐渡で飼育されていましたが、関係者の努力が実らず繁殖は失敗しました。中国から譲り受けたトキが順調に増え、最近檻から放たれたとニュースになりましたが、まだちょっと、おっかなびっくりで、ゲージの方が安心と戻って来たり、まだまだ親離れ(?)出来ません。先輩の豊岡のコウノトリは



次世代が定着し順調に増えています。人体への影響から農薬の使用が少し減り、餌になる生き物たちが増えてきました。人々の環境への関心が高くなった良い印です。学名が「ニッポニアニッポン」と付くからには、是非、昔のように日本の大空を舞って欲しいですね。岡山でもタンチョウの繁殖が試みられています。北海道のタンチョウもそうですが、地道に継続してお世話している人たちに敬意を払いたいです。

自然俳句欄

六年生案山子の眉目さらり書く

秀 夫

里山・田圃の案山子にイケメンの目鼻立ち。
邪気のない児童の筆に澁みなし。

野仏に一茎の供華曼珠沙華

秀 夫

九月例会。国は大和から、村は赤埴から創る。
野路の地藏尊に、手向ける様に曼珠沙華が咲く。

櫃の実やはらはら落す伊勢街道

秀 夫

宇陀の赤埴は大樹の宝庫。いにしへの旅人の鬨音が聞こえる。木の実が、深み行く秋を象徴する。

ザクロ

今年は、庭のザクロが沢山の実をつけ甘酸っぱい味を楽しませてくれました。今月は花ではありませんが実をスケッチしました。

ザクロ科 落葉小高木

原産地 小アジア花期 6月

花言葉は、円熟した優美・子孫の守護・おろかしさ

学名 *Punica granatum* (石榴)

Punica : ザクロ属

granatum : 粒状の

Punica (プニカ) は、ラテン語の「*punicus* (カルタゴの)」が語源。ザクロの原産地がカルタゴだったのかも・・・。



ザクロ
双子葉植物
落葉小高木 ザクロ科
Punica granatum

仏教における鬼子母神は、子育て、安産の神だが、元は子供を食らう鬼でした。釈迦は、鬼子母神の最愛の子を隠し、子を失う母の悲しみを分からせ、そして代わりに、ザクロの実を食べさせ、人肉を食べないことを誓わせたと言います。鬼子母神の像は、片腕に子供を抱き、片手にザクロの実を持ちます。

また、ザクロは多くの種をもつので、中国では子孫繁栄、豊穰のシンボルとして、結婚式のデザートなどに出されます。一人っ子政策の下でもデザートに使われているのでしょうか。また漢方薬として花や実を煎じて飲むと下痢止めになるといわれている。

男性の中にいる唯一の女性のことを「紅一点」というが、これは中国の詩人王安石が初夏、石榴の青葉の中に、紅い花の咲く様子を「万緑叢中紅一点」と詠んだ詩から出た言葉。

ちいきじょうほう

★菩提院大御堂(奈良)で黄色の彼岸花を見ました。珍しいそうですね。(吉村)

★(斑鳩より) 神南の高圧線(毎年同じところに来ます)コシアカツバメ 11日100羽、13日300羽、16日500羽頑張っねと言いました。(勝田)

★一人で新大宮から平城旧跡・佐紀盾列東西古墳郡、を巡りました。水上池でコガモたちが50~60いました。ノビタキが平城旧跡にいました。

・15日植物の会で曾爾高原へ行きました。ヒキオコシ・ノダケ・アザミ三種・タムラソウ・キセウタほとんどの花が種でしたが、リンドウ・ウメバチソウが盛りでした。

今日のヒットはハバヤマボクチ、こんないい状態は初めて見ました(小田)

★(檜原)畑の雨水を貯めるペールに今年もオタマジャクシが大きいのは4センチ?

大中小合わせて17匹が二つのペールに暮らしている。まだ後ろ足は出てない。



<ハバヤマボクチ>

今まで畑でトノサマガエルしか見なかった所以他们はその子たちとばかり思っていたがある日草引きをしていたらツチガエルとばかり目があった。「えっ! あんた達もいたの? ジャーペールの子は一体どっちの子?」オタマジャクシをみて分かるのか どなたか教えて下さい。もうすぐ冬が来るのにのん気にオタマジャクシをしているのか心配の私です。



原則：前日午後7時前のNHK天気予報で降水確率（午前）60%以上の場合は中止

『ならやま里山林プロジェクト11・12月の予定』

このプロジェクトは三井物産環境基金の助成を受けています

場所： 奈良市奈良阪町・佐紀町の県有林（JR平城山駅下車徒歩10分）

—「ならやま会館」前の道路（ならやま大通り）の南側に広がる林地—
（案内地図が入用の方は、担当幹事までご連絡下さい）

日時： 11月 5日（木） 一般活動日
11月 9日（月） ならやま野鳥調査の日（小雨実施）
11月12日（木） 佐保台幼稚園「ならやまでリース作り」
11月21日（土） 公開イベント「リース作ろう、バウム・クーヘン焼こう」
11月26日（木） ならやま山の日（里山整備）
11月30日（月） 雨天予備日
12月 3日（木） 一般活動日
12月14日（月） ならやま野鳥調査の日（小雨実施）
12月17日（木） ならやま山の日（里山整備）
12月19日（土） いも煮会と餅つき

集合： 現地ベースキャンプ地 9時 終了予定 3時

交通： ①近鉄奈良駅 バス13乗場8：23発 高の原行（平日・土曜）

②近鉄高の原駅 バス1番乗場8：32発 JR奈良行（平日）・8：30発 JR奈良行（土曜）

① ②とも佐保台西口、または平城大橋で下車 徒歩約7分

携行品など：弁当、飲み物、軍手（作業用具は現地にて用意） 服装は、防寒にもご留意ください。

*環境保護のため、コップ・箸・椀は各自でご用意下さい。

活動内容：里山林整備、環境整備、植生調査、放置田跡の笹刈、花木植栽等の景観形成

復元田畑の農事作業、除草、有機栽培のための堆肥作り、土作り

*自由活動日：火曜日、金曜日が「ならやま自由活動日」です。活動される方は担当幹事までご連絡を。

*担当幹事： 古川 小嶺 岩田

*ならやま野鳥調査～野鳥の会奈良支部・川瀬支部長のご指導による～

☆日程：11月9日（月）

★出発時間・場所：9時・ならやま駐車場

☆小雨決行。判断の難しい時は担当者に問い合わせください。中止の時は次週に順延。

★担当者：小田 菊川

自然の素材でリースづくりと竹を使ってのバームクーヘンづくり

—公開イベントのあんない—

自然の素材でリースをつくり、徐伐竹を使ってバームクーヘンを作って豊かな秋の自然にふれるひと時をならやまで楽しみませんか。

奈良市教育委員会の後援を得て「奈良市民だより」(10月号)に市民の参加をよびかけて公開イベントとして開催します。

と き: 11月21日(土) 10:00~14:00

(雨天の場合は11月28日(土)に開催)

ところ: 奈良坂・ならやまペースキャンプ

参加費: 1人1000円

*リースの台や飾りの材料持参歓迎します

担当・西谷 範子、豊島すみ子

11月度例会 「奥飛鳥の秋」

・・・談山神社(多武峯)から奥明日香の紅葉を楽しみながら稲淵へ・・・

談山神社は、桜と紅葉の名所として知られ、秋は約3000本のカエデが、社殿の朱色と競うように赤や朱色に燃え立つ藤原鎌足を祭る神社。紅葉を楽しんだ後は、良助法親王墓を経て奥飛鳥の細谷川へ下ります。細谷川を遡った所に皇極天皇が642年に雨乞いを行ったと伝えられる二つの淵があります。女淵・男淵と名づけられ、飛鳥川の源流に当たるこの地域までは訪ねる人も稀で、まさに奥飛鳥の秘境の趣があります。稲淵から案山子ロード・棚田展望ロードと抜けて、石舞台へ帰路につきます。

【日 程】 11月27日(金)

【集 合】 近鉄 桜井駅南口 談山神社行きバス停(1番) 9時10分集合

乗車バス時刻 9時25分発

大和西大寺 8:24 → 8:53 大和八木(乗換) 8:58 → 9:05 桜井

大阪上本町(大阪線) 8:15 → 鶴橋 8:18 → 大和八木 8:53 → 8:58 桜井

【解 散】 石舞台バス停 15時~16時

【コース】 距離 10.7km 歩行時間 約3時間10分

桜井駅 → (バス) → 談山神社バス停(運賃460円) → 談山神社 → 良助法親王墓 → 畑
→ 細谷川 → 男淵 → 女淵 → 栢森 → 宇須多岐比売命神社 → 飛び石 → 石舞台
(バス) 檀原神宮(運賃340円)

【持ち物】 弁当、飲み物、雨具、観察用具

【担 当】 境 寛 寺田 孝

【その他】

1. 雨天中止の時の予備日は12月4日(金)です。集合時間は上記のとおりです。
2. 当日の天候判断が難しい時は担当幹事までお問い合わせください。

<12月の予定>

12月例会 忍辱山円城寺から滝坂の道のトレッキングと忘年会

初冬の東海自然歩道と懐かしい森林整備作業をした森を眺めながら歩きませんか。山並みに広がる茶畑や春日原生林を裏から超えていきます。なお一年の締めくくりとして年忘れの会を実施します。忘年会のみの参加も大歓迎です。

日時；12月7日（月）

1 忍辱山円城寺から滝坂の道

集合：近鉄奈良駅前 奈良交通バス4番乗り場 時間 9:30 厳守

行程：近鉄奈良駅前バス 9:40 ～円城寺 10:15～峠～滝坂の道～飛び火野解散 15:00

（凡そ 12km） なおJR奈良駅より奈良交通バス6番乗り場 邑地中村（柳生）行き 9:37 発に乗っていただいても結構です。（忍辱山バス停下車）

2 忘年会

時間：17:00～19:00

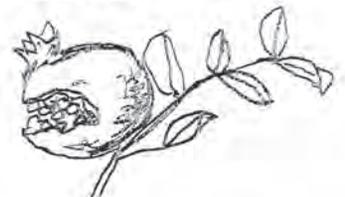
場所：万葉荘 (Tel 0742-26-7933) 近鉄奈良駅徒歩10分 奈良公園東南角で飛び火野こえすぐ右側 *会場の地図は会報第95号（12月号）に掲載いたします。

費用：4,500円

担当：板橋

大石

※ 前日午後7時前のNHK天気予報で降水確率（午前）60%以上の場合は例会を中止しますが、忘年会は行います。参加希望の方は早い目に担当までご連絡ください。



12月行事あんない パソコン教室の開催

奈良県立奈良朱雀高校のご好意によりパソコン教室（第2回）を開催します。日頃のみなさんのパソコン操作の悩みとか疑問を持ち寄って、ご教示いただきます。多数のご参加をお待ちしています。前回参加された方の継続受講も歓迎します。

【日程】 12月21日（月） 9:00～16:00

【場所】 奈良県立奈良朱雀高校（旧・奈良商業高校）（奈良市柏木町248）

アクセス：近鉄橿原線 西ノ京駅下車、東へ徒歩10分

マイカー：R24柏木町交差点西へ1つ目の信号すぐ

※参加希望の方は12月14日までに担当幹事までご連絡ください。

併せて、ご教示いただく内容、希望も併せてご連絡ください。

担当：岩田利秋

平成21年10月度幹事会議事録

日時：平成21年10月6日(火) 場所：奈良中部公民館 司会：境 記録：小田

【報告事項】

- (1) 会員数：122名
- (2) ならやま里山林プロジェクト
定例活動(3日)、臨時活動(9日)、鳥の日(1日) 参加者 136名
- (3) 8/23(祝) 夏休みわくわく自然体験―2―はなはなビレッジで開催(雨天で延期分)
- (4) 9/19(土) シニア自然大学 加茂理事来訪
- (5) 9/22(火) 「環境フェア」奈良百年会館出展 展示も注目され来訪者多数
- (6) 9/26(土) 9月例会 「赤壇の巨樹と仏隆寺」 16名参加。
- (7) 校庭自然観察会(出前教室)
10/5(月) 佐保川小学校 5年生児童 3クラス(97名)参加 好評であった。
10/21(水) 佐保台小学校 昆虫観察会を行う予定
- (8) 「鳥の日」一年の調査結果を、野鳥の会(奈良)川瀬支部長が11月号に掲載予定

【確認事項】

- (1) 行事確認
10/10(土) 生駒(10月号案内) 10/17(土) 佐保台小芋ほり大会
10/25(日) 黒髪山自然塾 11/27(金) 奥明日香

【討議事項】

- ・行事の写真保存、名簿の開示、幹事の定員枠についてなど討議
- ・今年始めた児童対象のインプリは、次年度以降も引き続きならやま等で研修会等を継続していきたい。

編集後記：*「ならやま野鳥調査1期」が終わりました。地道な調査でした。2期目にはどのような野鳥と出会えるか、楽しみです。*「黄砂」と言えば「春の使者」とも言われるように、3月頃から西風によって中国から運ばれてくる砂です。ところが今年は10月にも見られました。奈良でも周辺の山がかすんでいました。このようなことは「過去に3回しかない」とも言われるほどの「異変」です。今年だけの現象か、どうか、気になりますね。*当月会報の写真は、川瀬・平岡・古川(祐)・阿部・小田・小嶺・豊島・岩田の皆さんから提供いただきました。ありがとうございました。*会報発送作業：会報12月号の作業は11月25日(水)です。「奈良県西奈良ボランティアセンター」で午前9時からです。ご都合のつく方はご協力お願いします。

編集担当：勝田 均

TEL&FAX

【当会の行事における傷害事故等については個人負担とし、当会は賠償等一切の責任は負いません】

奈良・人と自然の会事務所

会長 阿部 和生